



要望書第 34 号 持参

今後の観光振興に関する要望書

一般社団法人栗東市観光協会

令和4年11月18日

栗観協第 103号

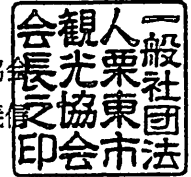
令和4年11月18日

栗東市議会

議長 田中 英樹 様

一般社団法人栗東市観光協会

会長 田中 義信



今後の観光振興に関する要望書提出について

拝啓 時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、栗東市の観光振興および栗東市観光協会事業に格段のご理解とご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、現在、栗東市におかれましては「栗東市総合戦略」にて「観光事業の推進」を主要施策と位置付けいただき、交通の要衝としての潜在能力や緑豊かな自然環境、歴史・文化遺産などの地域資源の活用、交流人口拡大を図るべくさまざまな施策による観光振興に注力いただいていることに対しまして、深く感謝する次第です。

このような状況を踏まえ、本会は、地域経済活性化と地域文化の発展に寄与する目的をもって、栗東観光案内所事業の受託、こんぜめぐりちゃんバスの運行、森林空間の利活用、旧和中散本舗の特別公開、たてば珈琲の販売、さらに今年からは市立森林体験交流センターの運営など、さまざまな観光振興事業に尽力してまいりました。

こうした中、継続した観光まちづくりに向け、その責務を果たすべく、今般「今後の観光振興に関する要望」を提出させていただきますので、どうか趣旨ご理解の上、要望内容をお汲み取りいただき、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本要望書については、栗東市長へも提出をさせていただいておりますこと、申し添えさせていただきます。

敬具

目次

No	要望事項	区分	す
		<b>重点要望</b>	
1	持続可能な観光振興の実現に向けた推進体制の構築支援		
	(1) 観光振興ビジョンに資する職員体制への重点支援	[継続]	2
	(2) 財源の確保に向けた取組への継続支援	[継続]	
2	森林空間をはじめとした自然資源の活用による地域活性化への取組支援		4
	(1) 森林の有する多様な公益的機能の持続的発揮に資する取組支援	[継続]	
	(2) 帰る旅、通う旅への取組推進への支援	[継続]	
	(3) こんぜの里周辺受入環境整備	[継続]	
3	歴史文化要素の保存継承に向けた取組への支援		6
	(1) 国指定史跡の観光拠点化推進	[継続]	
	(2) 国指定史跡周辺の受入環境整備への重点取り組み	[継続]	
4	市内への観光客受入環境整備への継続支援		
	(1) 市内二次交通の確保に向けた取組への継続支援	[継続]	
	(2) 市内にある駅構内観光案内拠点の機能強化	[継続]	8
	(3) 市内での周遊を促進する施策への継続支援	[継続]	
5	りっとうの魅力伝える戦略的な情報発信体制への継続支援		
	(1) 情報発信環境の整備に向けた取組への継続支援	[継続]	
	(2) 観光情報誌発行への継続支援	[継続]	10

## 1. 持続可能な観光振興の実現に向けた推進体制の構築支援

持続可能な観光振興を推し進めるための実行体制に中核となる組織は必要不可欠です。

地域の観光振興の中核となる一般社団法人栗東市観光協会（以下、当協会。）事務局の職員体制拡充および観光振興に充てる財源の確保を図られることにより、地域課題の解決につながるだけでなく継続的な地域経済への寄与が実現し、栗東市の発展に貢献します。

【重点要望】〈継続〉

### 【要望内容】

- (1) 観光振興ビジョンに資する職員体制への重点支援
  - ・ 専門人材の雇用に対する経費支援
  - ・ 案内所へ市職員の継続配置
- (2) 財源の確保に向けた取組への継続支援
  - ・ 観光施策に用いる財源の確保に向けた取組支援
  - ・ 地域の稼ぐ力を引き出すための調整機能を備えた法人となるべき取組に対する経費の支援

### 【要望理由】

- (1) 観光振興ビジョンに資する職員体制への重点支援
  - ・ 観光振興ビジョンの運営組織、また市の観光振興を担う中核組織としての活動を行う上で、事務局組織の人材確保は最優先事項です。DMO登録に向けて財務責任者（CEO：チーフ・フィナンシャルオフィサー）やデータ収集分析等の専門人材（CMO:チーフ・マーケティング・オフィサー）の配置は必要不可欠です。
  - ・ 滋賀県のすすめる「しが森林サービス産業」や「シガリズムトリップ」等、体験型観光などを販売商品化し、エコツーリズムやグリーンツーリズム、ウエルネスツーリズム等と関連付け、観光振興ビジョンとあわせて展開していくために、引き続き案内所において市の行政職員1名に勤務いただき、協働による案内所運営・観光振興事業の実施は必要不可欠です。
- (2) 財源の確保に向けた取組への継続支援
  - ・ 観光施策に用いる財源の確保に向けた取組として、全国各地ですでに実施されているふるさと納税や入湯税もしくは宿泊税による観光財源の確保等の取組を参考に、予約手数料や駐車場料金などの収入確保への取組は、当協会単独での実現は非常に困難です。
  - ・ 地域の稼ぐ力を引き出し地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人となるべき取組に対する経費の支援が必要です。

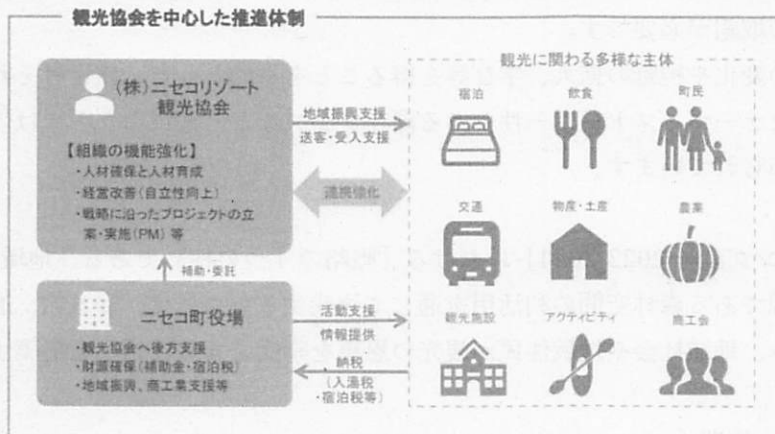
**【現状と課題】**

当協会は、前身となる任意団体「栗東町観光協会」が昭和30年代後半に設立され、平成18年の「特産振興会」との合併を経て、令和2年5月に法人格を取得しました。昨年度は、「栗東市観光振興ビジョン」に基づき「観光マーケティング計画」を策定し、持続可能な観光振興を実現するべく、観光誘客事業の企画運営、受入環境整備、情報発信など栗東市との連携・協働により各種事業に取り組み、今年度は、滋賀県「やまの健康推進プロジェクト」3か年の最終年にあたり、中山間地の森林資源を活用し林業体験活動等を通じた農山村と都市部居住者との交流による地域経済のさらなる活性化に向け取り組むとともに、市の交流施設である「栗東市立森林体験交流センター」の指定管理者となり施設運営を開始いたしました。

栗東市観光振興ビジョンの基本方針Ⅱ「行きたい、会いたい、体験したいと思われる体系と体制づくり」にある、戦略的なマーケティング計画の実行体制および組織体制の構築に向け、特に、事務局職員の平均年齢は、54.1歳と栗東市職員の平均年齢41.7歳を10歳以上大きく上回っており、将来的な栗東駅前での観光案内所開設に向けて、人財の確保および後進の育成は喫緊の課題となっています。

また、財源の獲得および収益構造の確立は、また、同時に「地域の観光のかじ取り役」としての責務を果たしていくことに対し、雇用を創出し、地域の文化や産品を活かす持続可能な観光のため、持続可能な観光振興を図っていく上で重要課題となっています。

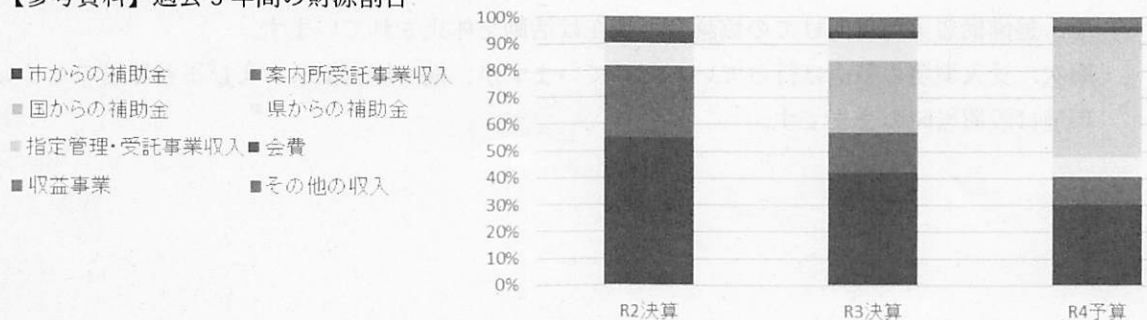
**【参考資料】観光協会を中心とした観光振興推進体制、ニセコ町の場合**



株式会社ニセコリゾート観光協会は、魅力ある観光地づくりやその魅力の発信など、観光の振興、発展に貢献した個人及び団体に対し、その功績をたたえる「観光庁長官表彰」を受賞されています。

左図：ニセコ町観光振興ビジョン概要版より引用

**【参考資料】過去3年間の財源割合**



## 2. 森林空間をはじめとした自然資源の活用による地域活性化への取組支援

栗東市の面積の約半分を占める森林空間は貴重な地域資源です。森林の持つ多面的機能を林業以外にも発揮することでひとがより健康に暮らし、都市部では体感できない魅力を伝えることで地域への経済波及効果を生むことが可能です。

〈継続要望〉

### 【要望内容】

- (1) 森林の有する多様な公益的機能の持続的発揮に資する取組への支援
  - ・森林サービス産業の推進に係る取組に対する経費の支援
  - ・ウェルネスツーリズムおよびアドベンチャーツーリズムの推進支援
- (2) 帰る旅、通う旅への取組推進への支援
  - ・帰る旅の観光需要に応える取組に対する経費の支援
- (3) こんぜの里周辺受入環境整備
  - ・春と秋の行楽シーズンにおける土日祝日の駐車場対策
  - ・来訪者受入環境整備

### 【要望理由】

- (1) 森林の有する多様な公益的機能の持続的発揮に資する取組への支援
  - ・森林を多面的な利活用を実践していくために、多様な分野や域内での連携を促進し波及効果を最大化していくための取組が必要です。
  - ・旅行を通じて自分自身の変化や視野の拡大、学び等を得ることを目的とした、旅行者それぞれの興味・関心に応じたテーマ・ストーリー性のある滞在プランなど、栗東市ならではの体験を提供することが求められています。
- (2) 帰る旅、通う旅の推進
  - ・「栗東市観光マーケティング計画 2022-2024」における「戦略の4つの柱」である「地域社会との共生」を地域資源である森林空間の利活用を通じて達成するためには、帰る旅、通う旅の観光需要を取り込み、地域社会や地域住民が観光の恩恵を享受できる仕組みを構築する必要があります。
- (3) こんぜの里周辺受入環境の整備
  - ・全国植樹祭会場跡地（現；滋賀日産リーフの森）周辺は、過去に「奥こんぜの森整備構想」があり順次整備されてまいりましたが、その後の環境の変化に伴う財政事情の厳しさもあり、整備構想実現に向けての協議会も現在は活動を休止されています。
  - ・順次、受入環境の整備は行っていますが、横ヶ峰展望所および平谷球場のトイレ環境は設置当時のままです。

## 【現状と課題】

市の約半分（44%）を森林が占めている栗東市ですが、森林を有する市南部の金勝（こんぜ）地域では、人口における65歳以上の高齢者が占める割合が55%を超える地区も存在し、高齢化や後継者問題、空き家対策、遊休農地対策等、農林業や地域の活性化に向けた森林空間の利活用が望まれます。

すでに全国の各地で、森林空間の利活用でのさまざまな取り組み事例が多数あり、地域の活性化に寄与していますが、当協会では、これまでに、林野庁「森林サービス産業地域版プロモーション戦略支援」や滋賀県「やまの健康推進プロジェクト」、観光庁「地域資源の磨き上げを通じた域内連携促進実証事業」を通じて、栗東市南部の金勝地域を中心とした森林空間の利活用をすすめ自然と伝統文化、健康などの要素を取り入れ体験観光コンテンツを造成し、公益社団法人びわこビジターズビューローや滋賀県とも連携しさまざまな誘客施策を実施してきました。

### ○森林空間の利活用促進について

地域が抱える遊休農地や空き家、高齢化、後継者不足といった課題に対し、多様な分野との連携による「森林サービス産業」の事業スキーム創出に取り組み、地域資源の磨き上げを通じ、課題解決に向け取り組んでいきます。

### ○新たなツーリズム「帰る旅、通う旅」の推進

株式会社リクルート実施の「帰る旅 需要ポテンシャル調査」で「新たな故郷」を見つける、帰る旅としての旅行は従来型の旅行と同等の需要があることが分かりました。現在、滋賀県「やまの健康推進モデル地域」の取組で明日の走井を考える会と連携しておりますが、次年度において市場の欲求に応える取組を展開することで、さらなる地域の活性化が狙えます。

【参考資料】「新たな故郷」を見つける、帰る旅の需要について

(%)

以下にあげるような旅行・旅に、あなたはどの程度「行きたい」と思いますか。 (全体/各単一回答) ※結果より一部抜粋	n	ぜひ行きたい	行きたい	どちらともいえない	あまり行きたいとは思わない	行きたいとは思わない	行きたい・計
宿に泊まり、美味しいものを食べられる旅行・旅	3,000	27.9	32.7	25.7	4.9	8.8	60.6
宿に泊まり、温泉を楽しむ旅行・旅	3,000	26.4	32.3	26.1	5.9	9.4	58.7
<b>第2の故郷と呼べるようなところに帰省するような旅行・旅</b>	<b>3,000</b>	<b>11.5</b>	<b>26.5</b>	<b>38.4</b>	<b>10.5</b>	<b>13.1</b>	<b>38.0</b>
<b>自分の居場所のある場所に行く旅行・旅</b>	<b>3,000</b>	<b>13.5</b>	<b>30.8</b>	<b>36.9</b>	<b>7.6</b>	<b>11.2</b>	<b>44.3</b>
祭りやイベントへの参加・鑑賞を楽しむ旅行・旅	3,000	10.2	29.1	37.5	10.6	12.7	39.3
趣味のスポーツを楽しむ旅行・旅	3,000	9.3	21.6	37.3	14.6	17.2	30.9
買い物・アウトレットを楽しむ旅行・旅	3,000	12.2	30.0	34.7	11.1	12.0	42.2

出典：じゃらんリサーチセンター「帰る旅需要ポテンシャル調査」より

### ○金勝アルプス周辺施設について

滋賀日産リーフの森には駐車区画が29台しかなく、満車になることが多く機会損失となるだけでなく、満車時は県道12号線への路上駐車や、駐車場への入庫待ちの車両が列をつくり交通の妨げになっています。同様に、横ヶ峰展望所でも駐車区画が不足し、区画外駐車や路上駐車が横行しており安全管理上危険なケースが散見されており、周辺道路における利用者の安全確保が課題となっています。

### 3. 歴史文化要素の保存継承に向けた取組への支援

これまでの先人たちによる惜しみない尽力により守り育まれ生活の基盤となってきた歴史や文化。このまちに関わるすべてのひとの心の風景を彩る歴史文化を後世によりよく伝え、残していくことで新たな価値を創造する好循環を生み出す施策の実現を図りたい。

〈継続要望〉

#### 【要望内容】

- (1) 国指定史跡の観光拠点化推進
  - ・東海道沿いにある国指定史跡「旧和中散本舗」の適切な保存と活用に向けた取組にかかる経費の支援
- (2) 国指定史跡周辺の受入環境整備への重点取り組み
  - ・周辺駐車場および公衆トイレ等の来訪者受入環境の整備

#### 【要望理由】

- (1) 国指定史跡の観光拠点化推進
  - ・栗東市文化財保存活用地域計画が策定され、歴史文化要素の一体的、総合的な保存と活用の必要に迫られて歴史的資源を有効活用し、素晴らしい文化財、施設をよりよく後世に伝え、残していくため、街道観光の拠点化を目指して旧和中散本舗の公開事業を継続実施しておりますが、
  - ・文化財保存活用地域計画に基づいた利用を図り、財源を確保していく必要があります。旧和中散本舗を中心とした文化財や古民家、寺社仏閣の利用や活用方法について、これまでの公開のみの取り組みに捉われない、斬新な発想による新規事業の検証や取り組みに向け、旅行者向けの体験型・滞在型コンテンツの充実および魅力向上に向けた取組が必要です。
- (2) 国指定史跡周辺の受入環境整備への重点取り組み
  - ・旧和中散本舗の特別公開も年数を重ねるごとに周知が広がり来場者の増加に伴い、駐車場が不足しており、また、公衆トイレがないことでの不便な状況が顕在化してきています。
  - ・歴史文化資産の有効活用を図りもって、地域経済の活性化に寄与するべく旧和中散本舗を街道観光の拠点化を目指して公開事業をはじめ、今年度からは県内他市町と連携した「滋賀びわ湖ひな人形めぐり」を企画しておりますが、周辺には公衆トイレがなく、大角家の自家用トイレに頼らざる得ない状況です。館内には、生活用のトイレが一基しかなく公開時には混雑する場面があります。
  - トイレ環境は観光客の観光地満足度を大きく左右しますので、街道周辺の公衆トイレ設置が必要です。



## 【現状と課題】

旧和中散本舗の特別公開は「NPO 法人街道をいかしたまちづくりの会」から事業を引き継ぎ、春と秋の特別公開として実施してきました。さらに、今年度からは「びわ湖のひな人形めぐり」企画にも参画し、文化財の利活用を進めています。市においては、「文化財保存活用地域計画」を策定し国の進める文化財の観光拠点化に向けた整備に取り組んでいただいております。市内には、国指定史跡の狛坂摩崖仏をはじめ多くの史跡や文化財が存在しており、豊かな自然とのかかわりや日々の暮らしの中で受け継いできた生活文化が豊富にあり、観光資源自体の魅力と合わせて、その歴史的背景やそれにまつわる人々の営みなどのストーリーを一緒に発信することにより、ほかにはない「栗東ならではの」魅力を伝えることができます。

美しい風土のもと、栗東ならではの生活文化を観光素材として、地域での生活体験に関心の高い旅行者に向けて、地域の歴史的魅力や特色を文化・伝統を語るストーリーとして発信していく必要があります。

### ○国指定史跡「旧和中散本舗」活用事業

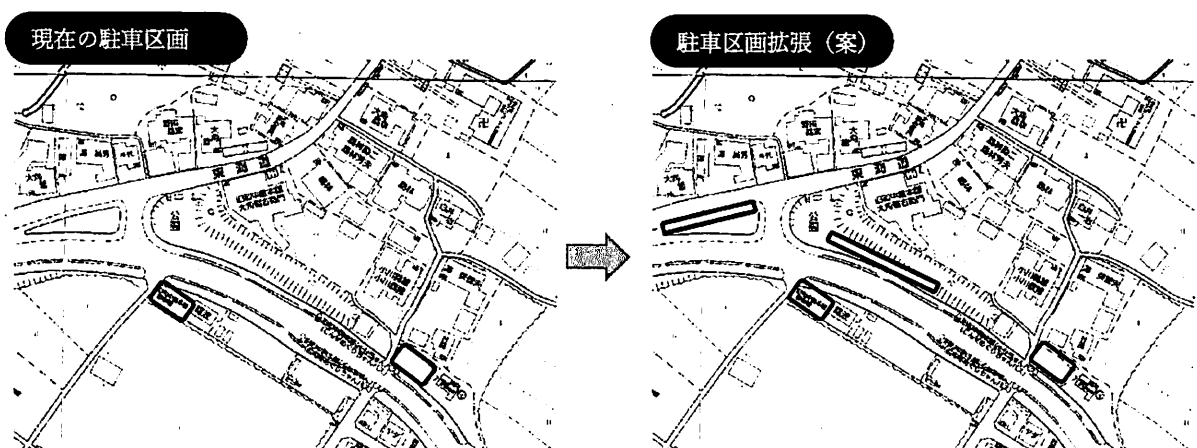
国指定史跡「旧和中散本舗」の活用として、現在、下記の事業を実施しています。

- ・旧和中散本舗、春と秋の特別公開
- ・びわ湖のひな人形めぐりの開催
- ・和洋弦楽器の公演開催（シガリズムコンテンツ造成事業との連携による）

### ○文化財の観光拠点化推進

現状、旧和中散本舗の特別公開に伴い、周辺の私有地や市所有の土地をお借りして駐車場として使用しておりますが、駐車可能台数が少なく満車になることも多く、来訪者への案内に苦慮しており、過去の公開時には、農道や近隣歩道への路上駐車等で近隣住民の方にご不便ご迷惑をお掛けすることがありました。

今後、「観光振興ビジョン」や「文化財保存活用地域計画」に基づき歴史文化の総合的な活用による観光資源の魅力向上を進めていく上で、街道観光の拠点となる駐車場等の受入環境整備については、喫緊の課題です。



#### 4. 市内への観光客受入環境整備への継続支援

平成 24 年 6 月、JR 草津線手原駅 2 階に本市で初となる「観光案内所」が設置され 10 年が経過し、その間に、平成 31 年 2 月には日本政府観光局（JNTO）認定の「外国人観光案内所カテゴリー1」を取得するなど機能強化およびサービス向上に努め、利用者も年々増加してきました。

〈継続要望〉

##### 【要望内容】

- (1) 市内二次交通の確保に向けた取組への継続支援
  - ・より快適に域内での周遊および滞在を可能にするため、観光振興ビジョンに基づく市内二次交通の利便性向上に係る取組に対する経費の支援
- (2) 市内にある駅構内観光案内拠点の機能強化
  - ・既存案内所での特産品販売の在庫管理業務効率化および平準化のために POS レジ（point of sale 販売時点情報管理システム）導入を図りたい
  - ・利用者の生活行動に応じるため、多様な支払行動を可能にする機能付帯を図りたい
- (3) 市内での周遊を促進する施策への継続支援
  - ・地域経済活性化の推進に向け、観光振興ビジョンに基づく周遊を促進する取組に係る経費の継続支援

##### 【要望理由】

- (1) 市内二次交通の確保に向けた取組への継続支援
  - ・手原駅から金勝寺までの区間で季節運行している「こんぜめぐりちゃんバス」の利便性を高めるため、増便に係る経費の支援が必要です。
  - ・コミュニティセンター金勝以南の地域への公共交通機関の乗り入れは、土日においては皆無となっており、フォレストアドベンチャー・栗東等アクティビティ施設をはじめ、公共の交流施設へのアクセスが困難な状況となっています。
  - ・市域での周遊促進、地域経済活性化、観光振興ビジョン基本方針Ⅱ-基本事業（2）受入環境の整備と受入意識の醸成-②交通アクセスの利便性向上に向けて、主要駅からの二次交通網の整備は必要不可欠です。
- (2) 市内にある駅構内観光案内拠点の機能強化
  - ・現金のみの支払にしか対応できない状況は多様な来訪者を迎え入れるための受入環境と言えませんので、早急な対応が必要です。
  - ・将来の駅案内所新設を視野に入れ、業務の効率化ならびに平準化は急務です。
- (3) 市内での周遊を促進する施策への継続支援
  - ・サイクルスタンプラリー、フォトコンストなど市内の周遊を促すことにより、観光振興ビジョン基本方針Ⅱ-基本事業（4）にある地域経済活性化の推進①観光関連消費の喚起を実現します。

## 【現状と課題】

当協会は、平成 28 年より栗東観光案内所事業を受託し本市を訪れる観光客への情報やサービス提供を開始し、平成 31 年には日本政府観光局（JNTO）認定の「外国人観光案内所カテゴリ-1」取得など、サービス向上に努めてまいりました。

観光案内所のある手原駅のほかに、市内には栗東駅が存在します。また、道の駅も「こんぜの里りっとう」と「アグリ郷栗東」と 2 か所あります。市内での周遊を促進させ域内経済活性化のため、これら来訪者が多く集まる場所に「観光案内」機能を有することは当面の課題です。

また、市内には公共交通機関でアクセスができない史跡や名所が多数存在していることも観光客を受け入れる障壁となっています。

### ○こんぜめぐりちゃんバス運行

平成 27 年度より、従前の「こんぜシャトルバス」から周遊型の「こんぜめぐりちゃんバス」へとリニューアルし、それ以降、運行ダイヤの見直しや停留所の新設、バス本体へのラッピング、JR 西日本各駅に配荷される情報誌への有料広告出稿など、改善を重ねながら運行しておりますが、現行のバス 1 台による運行ダイヤには限界があり、増便を期待する声にはお応えできない現状です。

### ○観光案内所の機能強化について

観光案内所での特名産品販売において、取扱い点数や売り上げが増加するとともに係員の負担が増大しています。在庫管理の簡略化を図り業務の効率化ならびに平準化を目的に POS レジ（point of sale 販売時点情報管理システム）導入の必要があります。

### ○アプリ等を活用した市内周遊促進について

滋賀県の進める「ピワイチアプリ」と連携し、密を避け周遊する仕組みとして開始したスタンプラリーですが、多くの方に利用頂き好評を得ており、閑散期の周遊促進策として期待できます。

### ○ORITTO フォトコンテストの開催

当協会は平成元年に市民からの公募による「栗東八景」を選定し、その普及および宣伝広報活動として開始したフォトコンテスト。継続して開催する事により、入賞作品を市内の施設や事業所で展示するなどして本市の魅力を発信し、魅力の再確認、地域資源の掘り起こしが期待できます。

### ○観光案内看板の整備について

主要幹線道路から市内各所への誘導看板の設置や整備について、域内での滞在時間延伸や来訪者の満足度向上に資するため、また、金勝アルプスハイキングコースや金勝寺へのアクセスに要する林道利用の多様化に対応し利用者の安全確保の観点からも、啓発看板等の設置とあわせて観光案内看板の充実を図る必要があります。

## 5. りっとうの魅力伝える戦略的な情報発信体制への継続支援

りっとうの自然や歴史、文化、食、地域交流等の魅力について、観光マーケティング計画やシティセールス戦略計画と連動し本市への来訪動機を喚起するために、整理された情報を適切なタイミングで発信できる広報体制の強化へ継続した支援をお願いします。

〈継続要望〉

### 【要望内容】

#### (1) 情報発信環境の整備に向けた取組への継続支援

- ・国内に限らず海外へ向けた Web および SNS 運用を実践するためのデジタル環境整備に要する経費の支援
- ・情報誌の継続発行にかかる経費への支援

### 【要望理由】

#### (1) 情報発信環境の整備に向けた取組への継続支援

- ・観光振興ビジョン基本方針Ⅱ-基本事業（3）戦略的な情報発信体制の強化により、観光客の滞在時間の延長、周遊を促し、域内での消費単価を増加させ、基本方針Ⅱ-基本事業（4）にある地域経済活性化の推進を実現します。
- ・デジタルを用いた情報発信を充実させることにより、情報の受け手側のデータを取得し分析、集積させ、効率的なターゲット戦略を図り、次の施策や企画立案に活用することが可能になります。

### 【現状と課題】

市内の情報を集約し、一元化して発信している「栗東市公式観光サイト」の管理運用を強化すべく、インスタグラムをはじめ、Facebook や Twitter といった SNS を開設し、ホームページと連動させ運用することで的確な情報発信に取り組み、また、電子媒体のみに限らず、従来の紙媒体も有効に活用するために、訴求力の高いコンテンツを掲載し、来訪意欲を促す取組を実施してまいりました。

来るインバウンドの再来に向け、国内に限らず、国外に向けた情報発信に対する取り組みが必要不可欠です。

#### 【参考資料】協会Webページにおける海外からのアクセス状況

国外からのアクセス割合（対象期間；令和4年4月1日～8月31日）

- ・4.26% 前年同時期 3.66%と比較して 0.6ポイント増

国外からのアクセスユーザー数

- ・1,862 前年同時期 1,430 から 432 増

全体のアクセスユーザー数は、前年同時期から 116.27%増

対して国外からのアクセスユーザー数は、130.2%増

地域別訪問者数；アメリカ 764、フィリピン 433、中国 83、インド 36、ブラジル 35

Google アナリティクスより